

授業科目	* 看護倫理				単位	1		
履 修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU11203J		
開講年次	2年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP4-1			
担当教員	金山 正子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>看護倫理に関する基礎的知識、看護職者の直面する倫理的課題について概説する。さらに、さまざまな価値や信念に感受性・関心を深め、倫理的意思決定を行うための枠組みなどを活用して、看護・医療における倫理的課題への対応について、事例をとおしてグループでディスカッションしながら考えていく。看護の実務経験を持つ教員により、看護実践の場でおこりうる具体的な倫理的課題や事例について、概説する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1.看護倫理の必要性を述べることができる。</p> <p>2.看護の倫理原則を述べることができる。</p> <p>3.専門職の倫理綱領を述べることができる。</p> <p>4.看護実践における倫理的課題と対応について考えることができる。</p> <p>5.倫理的課題に関する話し合いの場において、他人の意見に耳を傾けるとともに、自分の意見を述べるることができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0	30	10	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	20		10				30	
知識・理解 (DP1-2)	30		10	5			45	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)	10		10	5			25	
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
看護倫理の必要性、倫理原則、倫理綱領を理解する。看護における倫理的課題と対応を考えることができる。倫理的課題の話し合いの場において、他人の意見に耳を傾けるとともに自分の意見を述べるることができる。さらに、さまざまな倫理的課題をもつ事例への対応について自主的に学習をする。				看護倫理の必要性、倫理原則、倫理綱領を理解する。看護における倫理的課題と対応を考えることができる。倫理的課題の話し合いの場において、他人の意見に耳を傾けるとともに自分の意見を述べるることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	テーマ:授業概要、看護と倫理 授業概要の説明、看護倫理の必要性について概説する	オリエンテーション 講義	予習:医療倫理に関する宣言・綱領	30
2	テーマ:医療における倫理 患者中心の医療、患者の権利、生命倫理	講義	復習:患者の権利について 予習:看護の倫理原則	30
3	テーマ:看護倫理 看護者の倫理綱領、看護の倫理原則、専門職の倫理について概説する。	講義・演習(GW)	復習:専門職の倫理	30
4	テーマ:看護における倫理的課題と対応 看護における倫理的課題と対応について概説する	講義	復習:倫理的課題と対応について	30
5	テーマ:事例分析 グループで事例Ⅰについて考え、意見交換をする。	講義・演習(GW)	復習レポート:事例学習のまとめ	30
6	テーマ:事例分析 グループで事例Ⅱについて考え、意見交換をする。	講義・演習(GW)	復習レポート:事例学習のまとめ	30
7	テーマ:事例分析 グループで事例Ⅲについて考え、意見交換をする。	講義・演習(GW)	レポート:今後の看護に求められる倫理について	60
8	テーマ:これからの看護に求められる倫理について、授業のまとめ	講義・演習(GW)	復習:授業全体のまとめ	30
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	看護学概論において看護師の倫理綱領は学習しています。看護倫理は、今後、臨床現場における倫理的課題を考える際の基盤になるものですので、積極的に取り組みが必要です。			
テキスト	宮坂道夫他著：：系統看護学講座別巻 看護倫理、第2版、医学書院、2018年			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書についてはその都度紹介し、教材については必要に応じて資料を配布します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	医療倫理や看護倫理に関して社会でおこる出来事やマスコミの報道に関心を持ち、人々がどのように考え、どのように対応しているか、考える機会をもちましょう。			
達成度評価に関するコメント	試験、グループ発表、レポートの内容については、授業の中で指示をします。			